

【議事録】		作成
令和7年度 第2回 こども部会		松永
次第	内容	
会長あいさつ	第2回こども部会の次第について説明。	
内容	<p>*子育て相談会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より児童発達支援事業所の開催に向けて協議を進めていた経緯があるが、前回の部会内で挙がった意見を基にイベント内容を修正し、「子育て相談会」とタイトルも修正を行った。イベント詳細は以下のとおり。</li> </ul> <p>(日 時) 令和7年11月14日 10:00～13:00(最終受付 12:30)</p> <p>(目的) 地域の保護者の相談の場を作る。情報を1箇所で得られ、家庭でできる療育的支援を専門職から教えてもらうことができる場を提供する。</p> <p>(対 象) 未就学児童の保護者及び事業所関係者・相談支援員 (ブース)</p> <p>①相談ブース 行政ブース、相談員ブース、学校関係ブースを設営。こどもや家庭の気になることを相談できる。また、必要があれば療育等困りごとを支援するサービスや、申請手続きの方法を行政職員から聞くことができる。就学のことについても相談が可能。</p> <p>②体験ブース PT、OT、STが所属する事業所に協力を仰ぎ、家庭でできることの提案を行う。</p> <p>③事業所パンフレット 3市1町管轄内の児童発達支援事業所のパンフレットを設置。自由に持ち帰ってもらう。</p> <p>○質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験ブースに心理士や保健師など他の専門職は検討しなかったのか。 →検討は行ったが、家庭でできる療育的支援を考えたときに最もわかりやすい指導が可能と考え3つの業種に絞った。他に部会員から声がかけられそうな専門職がいれば教えてほしい。</li> <li>・サービス利用に直結しないようなイベントにするべきとの意見があり、今回のような情報提供の場を検討されたことと思う。短時間の開催になるので、説明資料の用意が必要では。</li> <li>・相談ブースは個別で行うのか。また事前申込み等で来場者数を予測できないのか。 →個別を想定。事前申込みが来場者にとってハードルになると考え検討していない。ただ、事前申込みで相談内容まで把握できれば相談時間の短縮と質の向上に繋がるので、再度検討したい。</li> <li>・どこにも属さない相談が来たときにブースはどこに案内するのか。</li> <li>・学校関係ブースでは地域の学校と養護学校の違いを示す資料の掲示が必要。どちらかだけの情報があるような場は相談会として成り立たないので、例えば、各市町の教育委員会や奈良県の特別支援教育推進室に協力を依頼するのはどうか。ただし11月はどちらも多忙。</li> <li>・周知方法は。 →行政機関のこども関係課、保健センターにパンフレットを置いてもらう方法を検討している。</li> <li>・今回、情報提供を目的にしているのであれば行政機関に繋がっていない保護者にも情報が届くようにすべき。地域に情報が回る工夫が必要。</li> <li>・体験ブースを管内の事業所に依頼するのであれば、いざ来場した方がサービスに繋がったときその事業所に行きたい、と希望が集中しないか。また、ブース内でどの事業所が良いのか聞かれると返答に困る。パンフレットはあっても、情報として少ないと思うので、事業所に依頼してパネル展示はできないか。</li> <li>・「家庭でできる療育的支援」の情報提供をしたいのであれば、ペアレンツメンターに協力を依頼しては。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>そもそも自立支援協議会の部会が主催するイベントとして、障がいのない方も対象に、一般的な説明会を行うことに疑問を抱いている。一般的な説明会であれば保健師等のブースが必要であると考えるが、それは他の場でも十分に行われている。更に、一般的な説明会に療育施設が入ってくること自体が不自然ではないか。</li> <li>保護者にニーズのある情報提供は、事業所の特徴や利用する方法ではないか。事業所から専門職に来てもらって、事業所の専門性を見せるべき。</li> <li>家庭ができる療育的支援の方法が分かっても、家庭環境は様々でできない環境的人がいることも理解するべき。むやみに療育に繋げないために説明会に変更したことは理解できるが、療育に繋がることは悪、と捉えられないような対応ができるよう配慮願いたい。</li> </ul> <p>○会長より質疑応答全般を振り返りまとめ 主の目的としては情報提供であり、療育に繋がる前にできることや困ったときの相談先を知ってもらうことであった。 開催時間が短時間なこともあります、協力を依頼する部会員の負担も軽減しながら、来場者に満足してもらえるようなイベント内容を再度検討したい。</p> <p>*「各ライフステージにおける障がい児を支える地域資源」更新の依頼 2年前に更新を行ったライフステージの資料を更新して欲しい。 事務局へメールで9月中に提出すること。</p> <p>○質疑応答  <ul style="list-style-type: none"> <li>当該資料は当初、こども支援の際情報共有が課題となり、対応が困難なケースが多かったことから、情報共有すべき機関を明確にするため作成した経緯がある。 現在も課題点が変わっていないのであれば、課題解決に向けてなにか検討してはどうか。 →今後検討する。</li> </ul> <p>*12月の部会で予定している研修会について  <ul style="list-style-type: none"> <li>関西発達臨床研究所の高橋浩氏に講演を依頼している。題目は未定で、今後打ち合わせを行うので何か質問や聞いてみたいことがあれば事務局まで。</li> </ul> </p> </p>
次回	令和7年10月15日(水) 10:00~